

反射材ってすごい!!!

意外に見えていない!

夕暮れ時や夜間は、ドライバーが歩行者に気づかない（闇に紛れて見えていない）ことがあります。「見えているだろう!」ではなく、「**相手から見えていないかもしれない**」という意識を持ちましょう。

【夕方から出かけるときのポイント】

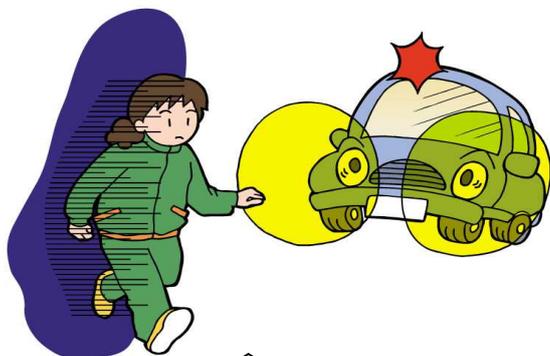
- ①**明るい色の服を着る。**
- ②**反射材を身につける。**

暗いところでも、反射材をつけていると、光が反射して、とてもよく目立ちます!!



自動車の下向きライトは、夜間に前方40mの距離にある障害物が確認できればよいとされています。時速 60 kmで走る車は、わずか 2.4 秒で目の前に来ます。だからこそ、**自分の姿を自立たせ、いち早くドライバーに知らせることが大切です。** そのためにも、**反射材を活用しましょう!!**

(反射リストバンド・反射ジャンパー・反射かばん・反射かさ・靴のかかとははる反射シートなど)



暗いときに、黒っぽい色の服を着ていると、相手からは見えにくいものです。**黄色や白などの明るい色の服**を身につけましょう。

夕方以降、出かけるときは、反射材をつけましょう。

【自転車】

前と後ろだけでなく、**スポーク（車輪）に反射材**をつけることで、どの角度からも自転車を確認することができます。(道路交通法で、車両後部に反射材か尾灯をつけることを義務付けられています。)

【歩行者】

1カ所だけでなく**何カ所も**付けたり、懐中電灯を持ったりしましょう。特に、**靴のかかとは**につけるとよく目立ちます。